

第29回 電顕サマースクール 2018 in 信州松本

生物の電子顕微鏡試料作製法を理解しよう
＝クライオから3次元コンピュータグラフィックスまで＝

開催日： 2018年 8月4日（土）～ 8月5日（日）

会場： 信州大学医学部地域保健推進センター
（信州大学松本キャンパス内）

主催： 公益社団法人 日本顕微鏡学会



実行委員長 寺田 信生（信州大学）
副実行委員長 高木 孝士（昭和大学）



(信州松本パンフレットより)

講演内容

「動物試料の固定・脱水・包埋」	立花 利公 先生（東京慈恵医科大学）
「包埋試料の超薄切片作製から透過型電顕観察へ」	高木 孝士 先生（昭和大学）
「生きた動物臓器の機能形態像を探る：凍結技法の意義」	大野 伸一 先生（山梨大学名誉教授）
「クライオ電顕の試料作製とデータ解析」	小田 賢幸 先生（山梨大学）
「走査型電顕による生物試料の3次元超微形態解析」	大野 伸彦 先生（自治医科大学）
「標的物質の局在を電顕で見る包埋前染色法」	秋元 義弘 先生（杏林大学）
「抗原賦活化法と包埋後染色法」	山下 修二 先生（慶応大学）

協賛企業講演

- 「電子顕微鏡」
- 「加速電圧」
- 「高圧凍結技法とクライオ薄切法」
- 「低真空走査型電顕」
- 「光電子相関顕微鏡」

実習

専門スタッフが丁寧に教えてください！

- 「固定法～包埋～超薄切～電子染色」
- 「急速凍結、生体内凍結技法、凍結置換固定法」
- 「連続切片走査型電顕試料の3次元データ解析」
- 「免疫電顕法・包埋前染色法」
- 「包埋後染色法・抗原賦活化法」

事務局
信州大学大学院医学系研究科
保健学専攻医療生命科学分野
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

くわしくはウェブサイト <http://microscopy.or.jp/summerschool/> をご覧ください。